

令和3年度 大阪府立農芸高等学校 第3回学校運営協議会【文書による開催 意見書】

- 1 実施方法 文書による意見聴取
- 2 提出・聴取期日 令和3年3月18日
- 3 学校運営協議会委員 意見聴取者 6名
PTA会長 千葉 様 同窓会会長 田中様 堺市美原区区长 澤田 様
大阪農業大学校 中井 様 (D) さつき野学園校長 中曾 様
- 4 聴取内容及意見

(1) 令和3年度学校評価及び令和4年度学校経営計画について

- コロナ禍による教育環境の変化を逆に生かしておられることが、各目標に対する成果を上げていると思います。先生方の創意工夫の成果と思います。
- コロナ禍の時節柄、移り変わる状況になかで創意工夫され学校一丸となって目標達成されている事と推察致し敬意を表させていただきます
- 4年度も目標達成にむけ学校、生徒の可能性が広がるご指導に期待しています。
- 少人数授業や指導方法の工夫改善によって、生徒アンケートの肯定率が前年に 比べ上昇しています。先生方の授業改善のご努力がその数字に表れていると思います。また、今年度も就職内定率100%ということで、今までの卒業生たちの活躍が各企業から評価されていると思います。1年間、お疲れさまでした。
- 授業以外での学ぶ力の育成については、自主的に自ら学ぼうとする意志が必要だと思っています。何のために何を学ぶのかが、明確に生徒の腑に落ちないと動かないと思います。
- 評価してあげることも高校生には必要ではないかと思います。そこから、その興味を追求していくうちに、必要な学力や教科に結びついていくこともあるのではないかと考えます。
- 教職員の働き方改革は喫緊の課題だと思います。時間外労働の短縮のために水曜日を定時退庁日とされているようですが、その実行はなかなか難しいところがあるかと思っています。保護者への周知や留守番電話対応などによって、保護者理解を進めることも必要だと思います。
- コロナの中、評価指標の維持、上昇は指導の成果である。
- イベント中止は残念
- コロナ禍の時節柄、移り変わる状況になかで創意工夫され学校一丸となって目標達成されている事と推察致し敬意を表させていただきます
- 4年度も目標達成にむけ学校、生徒の可能性が広がるご指導に期待しています。

(2) 授業アンケートの結果について

- オンライン授業の増加が成果に繋がっているとのことですが、単に授業スタイルの成果ではなく、先生方がより生徒の理解に繋がるような授業展開や課題を工夫されたためと考える。
- オンライン授業ならではの配慮もかなり多くなされていたと思います。
- 生徒取組と生徒意識がすべて上昇していることは、タブレットを活用して視覚に訴えながら生徒の理解を促進しようとする先生方の取組の成果と思う。

- 教科により結果に大きな差があることなどから、教員のスキルレベルの向上に取り組んで欲しい。
- ツールを工夫しての取り組や改善をされて、上昇傾向にあることを高く評価致します。更なる継続をお願い致します。

(3) 学校教育自己診断の結果について

- 貴学のカリキュラムに強い関心を示して入学する生徒や保護者にとって、大変満足する指導になっていると思います。これだけの評価を維持するためには、先生方の疲労感は相当であると推察します。
- コロナの影響も少なからずあり、不登校傾向の生徒は中学校でも増加しています。中学校では学級担任だけでなくSC（スクールカウンセラー）による相談体制（1回/W）があります。子どもの相談もさることながら、親の相談にも乗ってもらっています。第三者機関や公的機関の活用などを、リーフレットの配布や掲示などで広く生徒・保護者へ啓発できると良いと思う。
- 授業に関して（わかりやすい・内容の難易度）の「よくあてはまる」回答が少し低いと感じる。生徒が自宅で保護者にそう言っているということになります。一方、保護者自身が参観する体育祭などの学校行事については非常に肯定的回答が多い。
- 全体的に教員のモチベーションの低さが気になります。コロナ・タブレットの導入・生徒指導などによって多忙感が大きいのではないかと感じます。そのことで、各校務分掌もうまく機能できていないのではないのでしょうか。内発的な動きでないと先生方は、なかなか動かないと感じています。タブレットを活用した授業改善など、分掌の中の研修部を活性化させるのも一つではないかと感じました。
- 教員の肯定感が低いことが問題である。
- 保護者の方の満足度が高い。
- 相互理解を深める取り組みの時間や仕組みが必要では、と思います

(4) その他

- 状況や「価値感」が大きく変化する中で、先生方の日々のご尽力は一層過酷になっておられるとお察しいたします。
- 先生方が持続的に生徒保護者評価を高水準の保つためには、働き方改革が必要不可欠
- 「生徒一人ひとりの夢をカタチにできる“感動とトキメキの学園”」の推進を今後ともお願いいたします。
- 成年年齢が引き下がりました、成人としての意思や主体性を身につける為には、農芸高校の営みや環境は大変有効だと思います。
- 健やかで豊かな心の人材を育てる為に特色ある学校であり続けてください。
- 農芸高校のさらなる発展をお願いします。